

## BladeSymphony の Intel® Xeon® プロセッサ サーバモジュールに 日立サーバ仮想化機構「Virtage」を新たに搭載

同時に中小規模システム向けにコンパクトなディスクアレイ装置も新たにサポート



ハイエンドモデル「BS1000」



「BS320」用エントリークラス  
ディスクアレイ装置「BR20」

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:篠本 学、以下 日立)は、統合サービスプラットフォーム BladeSymphony(ブレードシンフォニー) ハイエンドモデル「BS1000」において、日立独自のサーバ仮想化機構「Virtage(バタージュ)」(\*1)を標準搭載した Intel® Xeon® プロセッサ サーバモジュールを製品化し、7月25日から販売開始します。これにより、アプリケーションサーバや中規模データベースシステムなど、主に Intel® Xeon® プロセッサを搭載したサーバが適用される領域においても、サーバ台数の削減やソフトウェアライセンス費用及び運用コストの最適化といったサーバ仮想化のメリットに加え、物理サーバのブートディスクを論理サーバでそのまま利用できるといった優れた物理サーバとの互換性や、物理サーバと論理サーバを一元的に管理できる高い運用管理性など、「Virtage」によるサーバ仮想化環境のメリットを受けることができます。

また今回、小型高集積モデル「BS320」において、N+1 コールドスタンバイ(\*2)に対応可能な 2U サイズのコンパクトなディスクアレイ装置「BR20」を新たにサポートします。同時に提供開始する「N+1 コールドスタンバイシステム設定サービス」とあわせ、中小規模システムにおいて、よりリーズナブルかつ容易に高可用システムの導入を実現します。

\*1) Virtage (バタージュ) :

Virtual Stage の造語。仮想化 (Virtualization) を新しいステージ (Stage) に導く製品であることを連想させる日立独自仮想化機構のブランド名。

\*2) N+1 コールドスタンバイ :

複数の業務サーバに対し少数の共通予備サーバを用意し、万一の故障時には業務サーバのブートディスクを予備サーバに自動的に引継ぎ、短時間で業務を再開するシステム構成。

なお、今回の新製品は、7月25日(水)、26日(木)に東京国際フォーラムにて開催される「日立 uVALUE コンベンション 2007」において、展示およびセミナーにて紹介します。

## ■新製品の特長

### 1. 「Virtage」標準搭載 BS1000 インテル® Xeon® プロセッサ サーバモジュールの提供

従来、特に基幹業務用途向けのインテル® Itanium® 2 プロセッサを採用したサーバモジュールに「Virtage」を搭載してきましたが、マルチコア化により性能向上したインテル® Xeon® プロセッサのエンタープライズシステムでの採用が本格化してきたことにもない、今回「Virtage」の適用範囲をインテル® Xeon® プロセッサ サーバモジュールにも拡大しました。

「Virtage」による IT 資産の有効利用により、例えば、複数の本番環境および開発・評価環境を持つシステムを「Virtage」搭載のインテル® Xeon® プロセッサ サーバモジュールを用いて統合した場合、TCO (Total Cost of Ownership) を約 30% 削減することができます。

#### (1) 柔軟な論理サーバ構成が可能

インテル® Itanium® 2 プロセッサ版と同様に、物理サーバ(サーバモジュール本体) 1 台あたり最大 16 台の論理サーバに分割して利用でき、また各論理サーバでは、LAN アダプタ、ファイバチャネルアダプタなどの I/O インタフェースを共有することが可能です。論理サーバへの物理プロセッサ割り当てには、プロセッサを占有して高速処理を実現する占有モードと、プロセッサを共有し 1% 単位のきめ細かなプロセッサ利用率の設定により処理能力を有効活用する共有モードがあります。これらを使い分けることで、リソース利用効率の高いシステムを構築可能です。

#### (2) 優れた物理サーバとの互換性を実現

従来のソフトウェアによるサーバ仮想化環境に比べ、物理サーバのブートディスクを再構築することなく、論理サーバでそのまま利用できるなど優れた物理サーバとの互換性を備えています。このためクラスタソフトウェアやバックアップソフトウェアなどハードウェアと密接に関係するソフトウェアも、仮想化環境で利用可能です。

#### (3) 物理サーバと論理サーバの一元運用管理を実現

管理ソフトウェア「BladeSymphony Manage Suite」により、物理サーバと論理サーバを一元的に運用管理できます。物理サーバとインテル® Itanium® 2 プロセッサ サーバモジュール上の論理サーバ、インテル® Xeon® プロセッサ サーバモジュール上の論理サーバが混在している場合でも、物理/論理サーバの一元運用管理ができるなど、仮想化環境を含めたシステムの運用管理性に優れています。

## 2. N+1 コールドスタンバイに対応したエン트리ークラス ディスクアレイ装置「BR20」のサポート

「BS320」において、新たに SAS(\*3)インタフェースを採用するエン트리ークラス ディスクアレイ装置「BR20」をサポートしました。「BR20」は企業の部門データベースシステムや PC サーバ統合など、中小規模システム向けに適したコンパクトなディスクアレイ装置です。

\*3) SAS (Serial Attached SCSI) : SCSI をシリアルで接続し、高速化したディスクインタフェース規格。

### (1)コンパクトな筐体を実現

現行のエン트리ークラス ディスクアレイ装置「BR50」「BR150」の半分となる 2U サイズ(高さ約 88mm)のコンパクトな基本筐体にディスクドライブを最大 12 台搭載することができます。

### (2) SAS スイッチを業界で初めて製品化

今回の「BR20」サポートにあわせ、「BS320」のサーバシャーシに搭載可能な SAS スイッチも業界で初めて製品化しました。「BS320」のサーバシャーシには、本スイッチを最大 2 台搭載できるため、ストレージ接続パスを完全に二重化した冗長構成を組むことが可能です。

### (3)高可用性 N+1 コールドスタンバイに対応

「BR20」はブートディスクとしても利用できるため、N+1 コールドスタンバイシステムを優れたコストパフォーマンスで実現できます。今回、「BS320」と「BR20」を用いた N+1 コールドスタンバイシステムの納入に際し、必要なハードウェアの設定、ソフトウェアのインストールおよび設定を事前に行う「N+1 コールドスタンバイシステム設定サービス」の提供を開始します。これにより、高可用性 N+1 コールドスタンバイシステムのより容易な導入を実現し、中小規模システムの高可用性に対するユーザーニーズに応えます。

## ■新製品の価格と提供時期

名称	概要	価格	提供時期
BS1000 サーバモジュール (Virtage 標準搭載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デュアルコア/クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサ 最大 2、メモリ最大 32GB</li> <li>サーバ仮想化機構 Virtage 標準搭載</li> <li>サポート OS(*4)</li> </ul>	1,134,000 円～ (税抜 1,080,000 円～)	9 月 28 日
エン트리ークラス ディスクアレイ装置 BR20	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホストインタフェース 3Gbps SAS</li> <li>搭載可能ディスクドライブタイプ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-SAS 73GB/146GB または SATA 500GB</li> </ul> </li> <li>搭載可能ディスクドライブ台数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-基本筐体(2U) 最大 12 台</li> </ul> </li> </ul>	2,010,750 円(*5)～ (税抜 1,915,000 円～)	11 月 30 日
BS320 用 SAS スイッチモジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>BS320 サーバシャーシに最大 2 台搭載可能 (ファイバチャネルスイッチモジュールと背反)</li> <li>SAS インタフェースポート数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-外部 4 ポート/内部 10 ポート</li> </ul> </li> </ul>	892,500 円～ (税抜 850,000 円～)	
BR20 対応 N+1 コールドスタンバイ システム設定サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>N+1 コールドスタンバイシステムの設定を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-BS320、管理サーバ 管理ソフトウェア インストール代行</li> <li>-N+1 コールドスタンバイ システム設定</li> </ul> </li> </ul>	525,000 円(*6)～ (税抜 500,000 円～)	

\*4) Microsoft® Windows Server® 2003、Red Hat Enterprise Linux AS4

\*5) 基本筐体(SAS モデル、デュアルコントローラ)に SAS 73GB HDD×3 を搭載した構成の価格

\*6) サーバモジュール 5 台(4+1)構成の価格

#### ■他社商標注記

- インテル、Xeon、Itanium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

#### ■統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/bds/>

#### ■取扱事業部・照会先

株式会社日立製作所情報・通信グループ  
エンタープライズサーバ事業部 企画部【担当:松村、喜多村】  
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地  
電話:0463-87-6786(ダイヤルイン)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---